

第36回 「とも暮らし」ナガヤタワーの竣工によせて

鹿児島島の診療所
隣地に多世代住宅

鹿児島中央駅から、ナ
ポリ通り沿い、甲突川と
並行した道路と公園に挟
まれたところに、「堂園
メディカルハウス」があ
る。築後17年を迎えたこ
の有床診療所は、内科と
産婦人科を標榜している

が、様々なオルタナティ
ブメディシンも導入した
旧来型の西洋医学の域を
越えた診療活動を展開し
ている。
クリニックという通称
ではなく、このメディカ
ルハウスという名称も院
長である堂園晴彦医師の

地域包括ケアと
高齢者の住まい

その理念と役割

国際医療福祉大学大学院医療
福祉学分野教授。1944年生ま
れ。立教大学教授などを歴任後、
2010年4月より現職。(財)高齢
者住宅推進機構理事、財有科老
人ホーム協会理事などを兼務。
地域包括ケア研究会委員(厚労
省)、高齢者居住安定化モデル
事業評価委員会座長(国交省)、
国土審議会長期展望委員会委
員(国交省)などを務める。地域包
括支援センター実務必携(オーム社)、コミュニティ福祉学入門
(有斐閣)、介護保険のマネジメントシステム(医学書院)、高齢
者の権利擁護システム(勤草書房)など著作多数。専攻は福祉
政策、地域ケア論。



高橋 敏士 教授

理念が反映されている。
治療のみならず生活
が展開する場としてのハ
ウスという名称に込めら
れているのは、人々の生
活を尊重した医療という
理念の反映である。また
在宅医療を支援診療所とし
て在宅医療を展開し、在
宅の看取りの事例も多
い。
「病院のなかに自宅の
一室を」というコンセプ
トにより、木を多用し、
畳や窓からの景観に配置
し、病室というよりも、
生活の場という色合いが
濃い空間である。
多くの癌末期の患者が
職業活動を中断すること

なく、最後まで病と折り
合いをつけながら療養生
活を続け、そして看取ら
れる場として、いわばホ
スピスの機能を果たすと
ともに、妊婦もここで出
産を待つことができる。
また重症のアトピーの患
者が県外からも来診し長
期滞在されるなどのことな
ど、文字通り人生のすべ
での局面で全人的な医療
を提供する場を実現して
いる。

病める方々のために、
様々なボランティアの方
々により活動が展開され
ているのも特筆すべきで
ある。
二階はワンフロア全体
がコミュニティカフェと
して、様々な方の居場所
として、また、憩いの場
でもあり、また様々な方
たちのふれ合いの場とし
ても機能している。

このような活動の展開
として、国交省の「高齢
者・障害者・子育て世帯
等居住安定化推進事業」
の平成22年事業に採択さ
れ、このほど隣地に「ナ

住まい方の「新しい器」完成

「ナガヤタワー」が建設され、
この度竣工を迎えた。
鹿児島島の姉妹都市であ
るナポリにちなんだ通り
に面して、テラコッタ様
式の鮮やかな黄色の6階
建て、V字型のデザイン
は、屋久島在住のウィリ
アム・ブラウアー氏が担
当した。

ポート、共有エリアの掃
除等をしてくれる学生に
は家賃割引を用意してい
ること。希望する人には
24時間対応、食事、健康
管理サービスを提供し、
退院後自宅に戻るまでの
入居など短期、長期入居
も可能である。

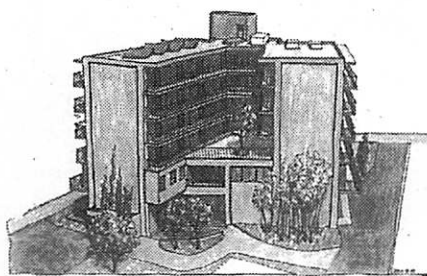
多様な暮らし可能
生活支援サービスも

ナガヤタワーの運営計
画によると、江戸時代の
長屋のようにさりげなく
助け合うこと、これを可
能にする共有エリアが贅
沢に配置されていること。
「住人参加型住宅」
として住人相互の関わり
を支援し、様々なサポー
ト体制づくりを担当する
社会福祉士が配置され
る。また高齢入居者のサ

また最期まで自分の部
屋ですごすために介護・
医療は堂園メディカルハ
ウスの看取りも含むサポ
ートが利用できること、
クリーニング、宅配付き
コンビニ、食糞発達障害
の子供のための施設など
がテナントとして一階部
分に入居すること、等々
が計画されている。

が用意されている。
個室ユニットケアの提
唱者である、故外山義教
授が、ケアの空間を説明
する概念として、プライ
ベート、セミプライベート
ト、セミパブリック、パ
ブリックという4段階論
を提唱されていたが、ま
さにこの長屋タワーはセ
ミプライベート、セミパ
ブリックの空間が豊かに
しつらえられていること
が特徴である。

この場を活用して、住
民による多様な活動が今
後展開されることが期待
できるし、それを支援す
る人的なコーディネート
機能も用意されている。
最低限の私室を数多く
配置し、最小限の共有空
間に留める従来型の共同
住宅とは様相を大きく異
にするこのナガヤタワー
は入居者を迎え、文字通
り「器に魂をいれる」段
階に達した。我が国がこ
れから経験する未踏の少
子高齢化段階における住
まい方のモデルとしてナ
ガヤタワーがどのような
展開をするか、刮目して
見守りたい。



▲「ナガヤタワー」外観のイメージパース

入居費用をリーズ
ナブルな水準に抑え
た居室部分は20平米
のワンルームから45
平米の2LDKま
で、シェアも可能な
多様な世帯が、多様
な住まい方を想定し
て用意してある。文
字通り老若男女の
「とも暮らし」の場

が計画されている。
入居費用をリーズ
ナブルな水準に抑え
た居室部分は20平米
のワンルームから45
平米の2LDKま
で、シェアも可能な
多様な世帯が、多様
な住まい方を想定し
て用意してある。文
字通り老若男女の
「とも暮らし」の場